

NPO 法人ふくてっく 平成 28 年度 第 2 回理事会 議事録

日時 平成 29 年 8 月 5 日 10:40～ :

場所 大阪市港区弁天町 1 丁目 2-2 弁天町 ORC200 生涯学習センター

式次第

出席状況報告 理事：杉浦 小川 苅田 清水 岡 池端 中北 (欠席：曾我部)
監事：稲住 (欠席：秋岡)
以上、理事 8 名中 名 監事 2 名中 名の出席を得て、
理事会は成立する。

議長の選出、 満場一致で 小川理事を選出
開会の宣言 小川理事は議長席につき開会を宣言
書記の指名 議長は議事等の記録を中北理事に指示した。

議案 1 議事録署名人の指名

議長は池端理事と清水理事を議事録署名人に指名した。

議案 2 平成 28 年度活動報告と各部収支報告、ならびに決算報告、監査報告、理事長挨拶

2-1 理事長挨拶およびふくてっくのつどい (小川理事長)

事業報告の中で、参加者個人名を記述するのは、不適切ではないかとの意見が出されたが、議論の結果支障なしとして、公表する。

2-2 東大阪部会 (清水理事)

東大阪部会活動に於いても同様に、会員個人名の公表は支障なしとする。
今期において、改造助成の障がい者対象が身体障害 1・2 級の者に限られていることを拡大できないかと市に提案したところ、一定の理解は得られたが、政策改定には市民からの声が必要であると指摘された。
このため、東大阪市の障害者支援にあたる事業所の連絡会に協力を求めて、意向調査に取組もうとしたが、残念ながら当事者からの反応はなかった。

2-3 こむねっと部会 (中北理事)

第三者評価事業がようやく軌道に乗り始めた。
SCP, 障がい者の地域生活支援、施設保全などの活動は「地域資源活用と地域福祉拠点整備」として一本化を図る。
この中で、障がい者グループホーム開設支援の取組について、大阪 NPO センターと協働して、ネットワークの構築を企図している。

2-4 平成 28 年度決算報告

前年度は大きな剰余金を出したが、今期は各事業収支が悪化したため、事業収支の剰余は 10 万余に留まった。このため、固定費を加算した経常収支ではマイナスの決算となった。

2-5 監査報告

7 月 5 日に、秋岡監事が監査を実施して、問題なしとされている。

- 議案 3 平成 29 年度活動計画と各部収支計画
- 3-1 ふくてっくのつどい (小川理事長)
- 28 年度は、活動参加者に少ないながら活動費を支弁してきた。
29 年度も引き続き、その方針を継続するが、費用を抑制する工夫も必要である。
活動毎に上限を設定するか、時間単価ではなく新たな評価方法を導入するとか、
今後、つどい内部で検討する。
しかしながら、安易に変更するのもよろしくない、との意見も出された。
- 3-2 東大阪部会 (清水理事)
- 改造費助成の対象から高齢者が除外され、検証活動は縮小傾向にある。
今後は、市民啓発活動に力を入れてゆく。
大阪市住まい情報センターとのタイアップ事業に取り組む。
H29 年度東大阪検証活動 作業担当予定表について、※を付したコメントは
削除する。
- 3-3 こむねっと部会 (中北理事)
- こむねっと部会はソーシャル・コミュニティ・ビジネスを発起した原点に戻り、
福祉サービス第三者評価事業と、社会資源活用による地域生活拠点整備事業を
総合化して、地域福祉に寄与する途を追求して行きます。
- 3-4 平成 29 年度予算計画
- 29 年度には NP015 周年記念事業を予定しており、各事業も大きな拡大は期待
できないことから、28 年度に引き続き厳しい収支が予想される。
- 議案 4 役員改選の件
- 今期末は役員の改選期に当たるが、理事会としては改選を見送り、
現体制のまま来期も運営することを総会に提起する。
- 議題 5 NP015 周年記念事業について
- 招へい講師との折衝については、中北理事に一任する。
その他、記念事業準備は理事が協働して取り組む。

議長は、他に発議がないことを確認して、12 : 30 に閉会を宣言した。

以上

議事録署名

議 長

印

署名人

印

署名人

印